



正光寺だより 70

YouTube 「正光寺のお寺チャンネル」 住職の法話が聞けます。

ホームページ 「神戸正光寺」 <https://www.shokoji-kobe.com>

「安穩殿」本堂西側。令和6年2月完成。葬儀・法要等にご利用可能です。

9月の予定

歎異抄輪読会と瞑想 9月18日(水) 14:00 第一条

お寺ヨガ(椅子ヨガ) 9月20日(金) 14:00

秋期彼岸会法要&永代経法要 9月22日(日) 13:30~ (ライブ配信します)

正光寺顧問弁護士による「終活に関する問題点を」テーマにご講演をいただきます

日曜学校

お休み

夏のおもいで

今年の夏は梅雨も短く、猛暑の毎日が続きましたね。

8月14日は本堂で盂蘭盆会終了後、冷房の効いた「安穩殿」でお茶休憩をいしました。月初には、南海トラフ地震の予兆、月末には台風10号が長く

居すわり多大な被害をもたらしました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

最後に沢山のお盆のお供えありがとうございました。一部は「子ども食堂」にご寄付いたしました



老いを生きる

鴨長明(1152~1216)の方丈記に『ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず、よどみにうかぶうたかたはかつ消えかつ結びて久しくとどまりたるためしなし』とある。仏法の無常観が表れている。9月は敬老の日がある。対語は棄老(きろう)である。お年寄りが敬われる社会であり、一方では捨てられる社会でもある。平均寿命、男は81歳以上、女は87歳以上、100歳以上の老人は9万人をゆうに超え、その内89パーセントは女性である。男は十人に一人の割合である。昔より日本人はお年寄りやご先祖をを大切にす国民と言いつ慣わしてきた。しかし、ご先祖に近づかれた人々をこれほど粗末にする国民もいないと言われている。何故そうやってきたのか真摯に考えてみる必要がある。豊かさ便利さばかりを追い求めていると何か大切なこと失ってきている。今、そのこと気づくべきである。賜った資料に「18歳と81歳」がある。①道路を暴走するのが18歳、逆走するのが81歳②心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳③恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳④まだ何も知らないのが18歳、もう何も覚えていないのが81歳⑤偏差値が気になるのが18歳、血糖値が気になるのが81歳、シルバー川柳その①三時間待って病名加齢です。②飲み代が酒から薬に変わる年③若作り席を譲られ無駄を知り④無農薬にこだわりながら薬漬け⑤腰よりも口につけたし万歩計⑥景色よりトイレが気になる観光地⑦これ大事あれも大事とゴミの山、皆様、楽しんでいただいたでしょうか?生きること、年をとること、病になること、死ぬこと、愛しい人と別れが必ずやって来(苦)ること、避けて通れません。明日は我が身、他人事ではないことに気づきましょう。人として大切な生き方です。